

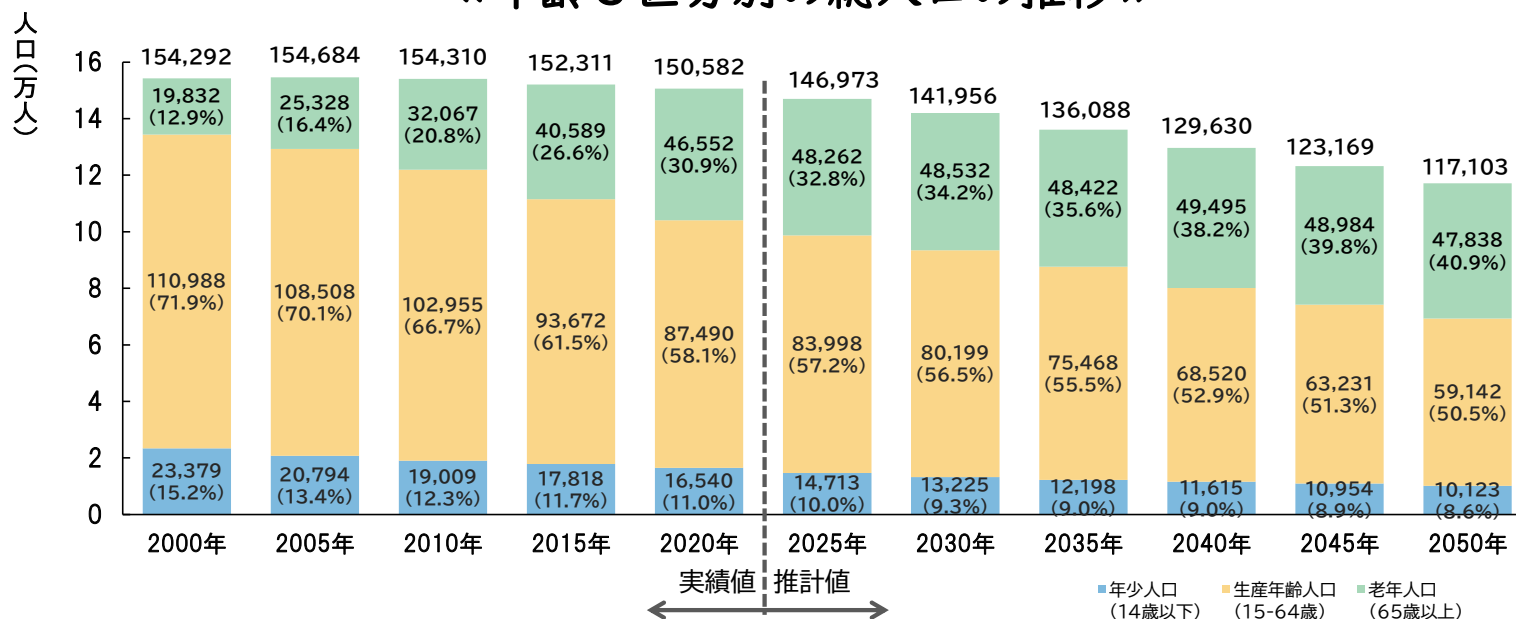
本市の現況

- Ⅰ 人口・・・・・・・・・・P2
- Ⅱ 都市機能・・・・・・・・P8
- Ⅲ 災害・・・・・・・・・・P10
- Ⅳ 財政・・・・・・・・・・P13

【総人口】

- ◆2020（R2）年時点の総人口は150,582人。2005（H17）年をピークとして緩やかな減少傾向
- ◆国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、2050（R32）年には117,103人となり、2020（R2）年から約22%（33,479人）減少
- ◆老年人口は2040（R22）年にピークとなり、2050（R32）年には老年人口の割合は40%を超える

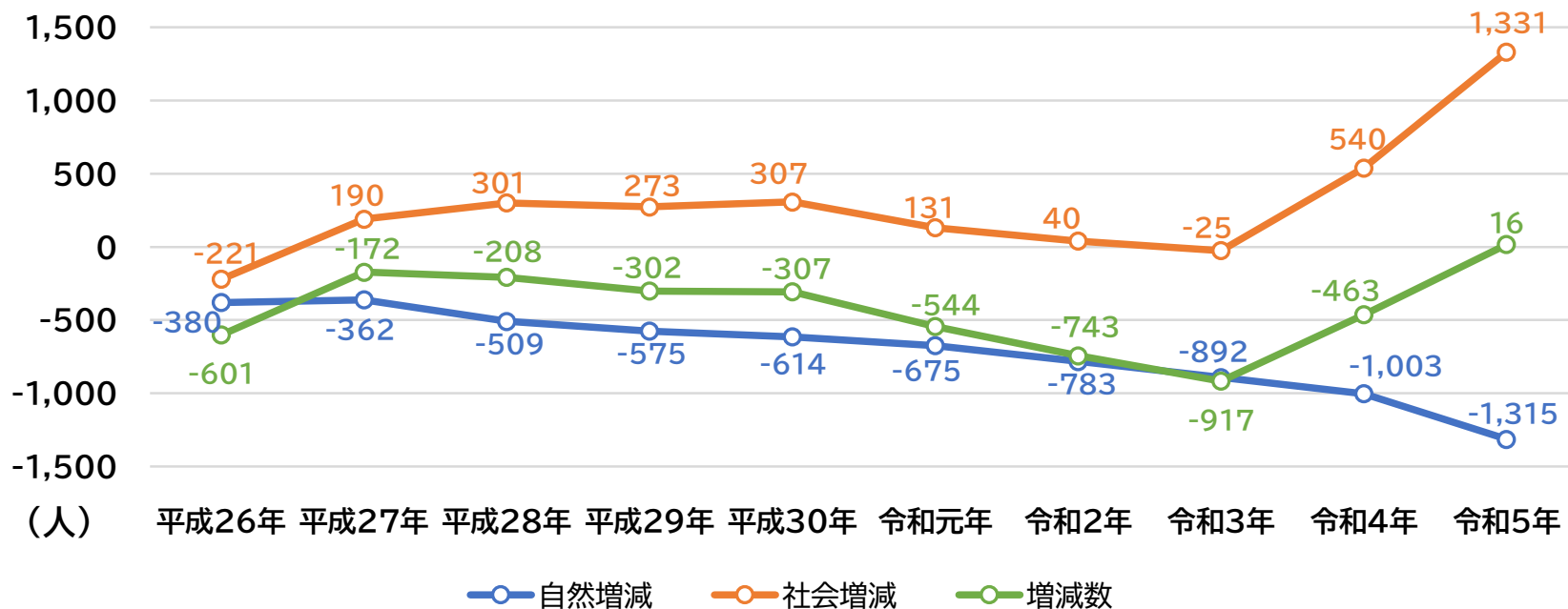
《年齢3区分別の総人口の推移》



【人口動態】

◆2014（H26）年から2023（R5）年における推移をみると、人口減少が継続していたが、2022（R4）年以降の大幅な社会増加により、2023（R5）年は16人の増加に転じる

《人口動態》

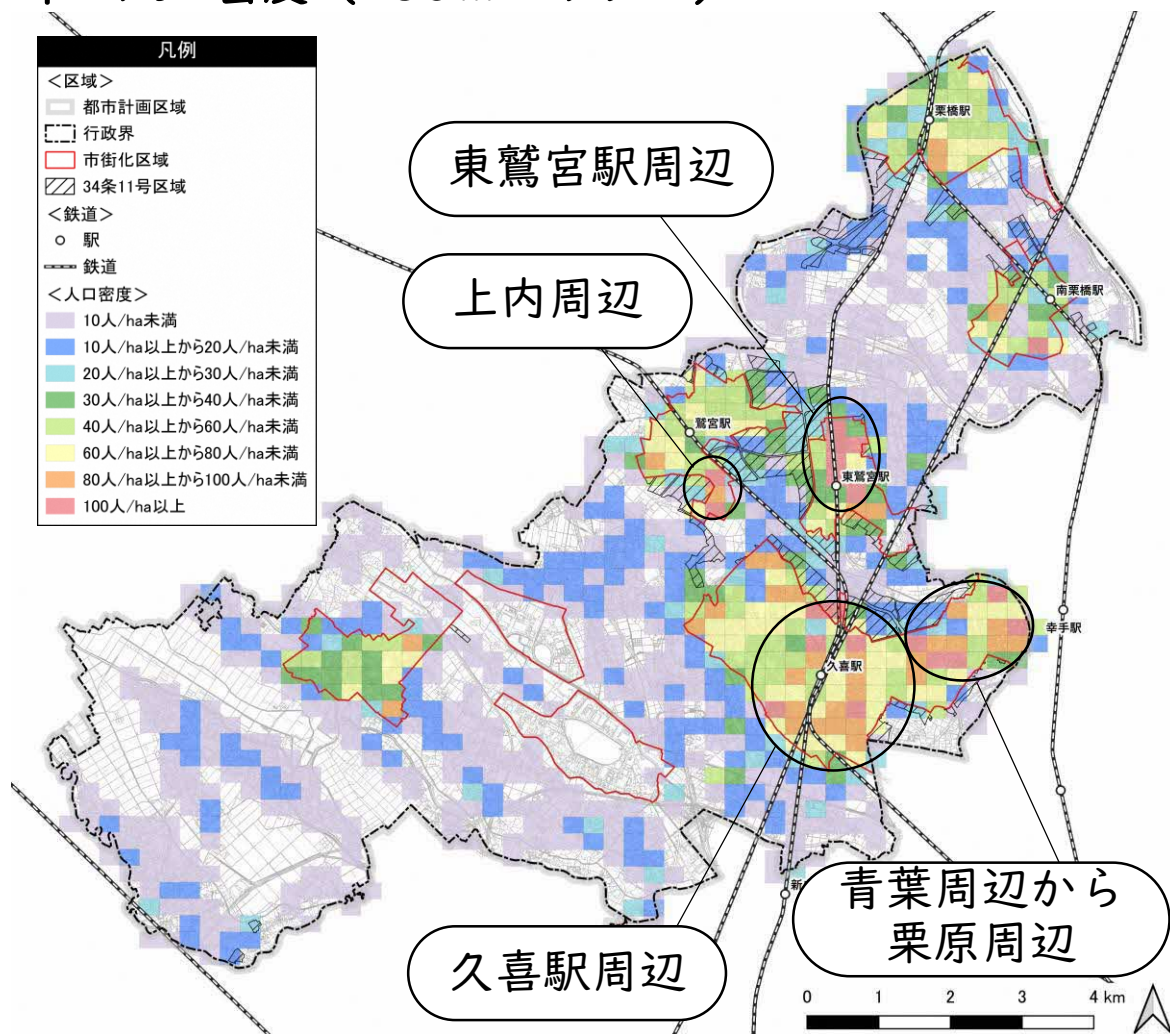


出典：統計くき

【人口密度（2020（R2）年）】

《2020（R2）年の人口密度（250mメッシュ）》

- ◆工業系用途地域を除く市街化区域の広範囲で、市街化区域の基準となる人口密度40人/ha以上
- ◆久喜駅周辺、東鷲宮駅周辺、青葉周辺から栗原周辺、上内周辺は、人口密度80人/ha以上

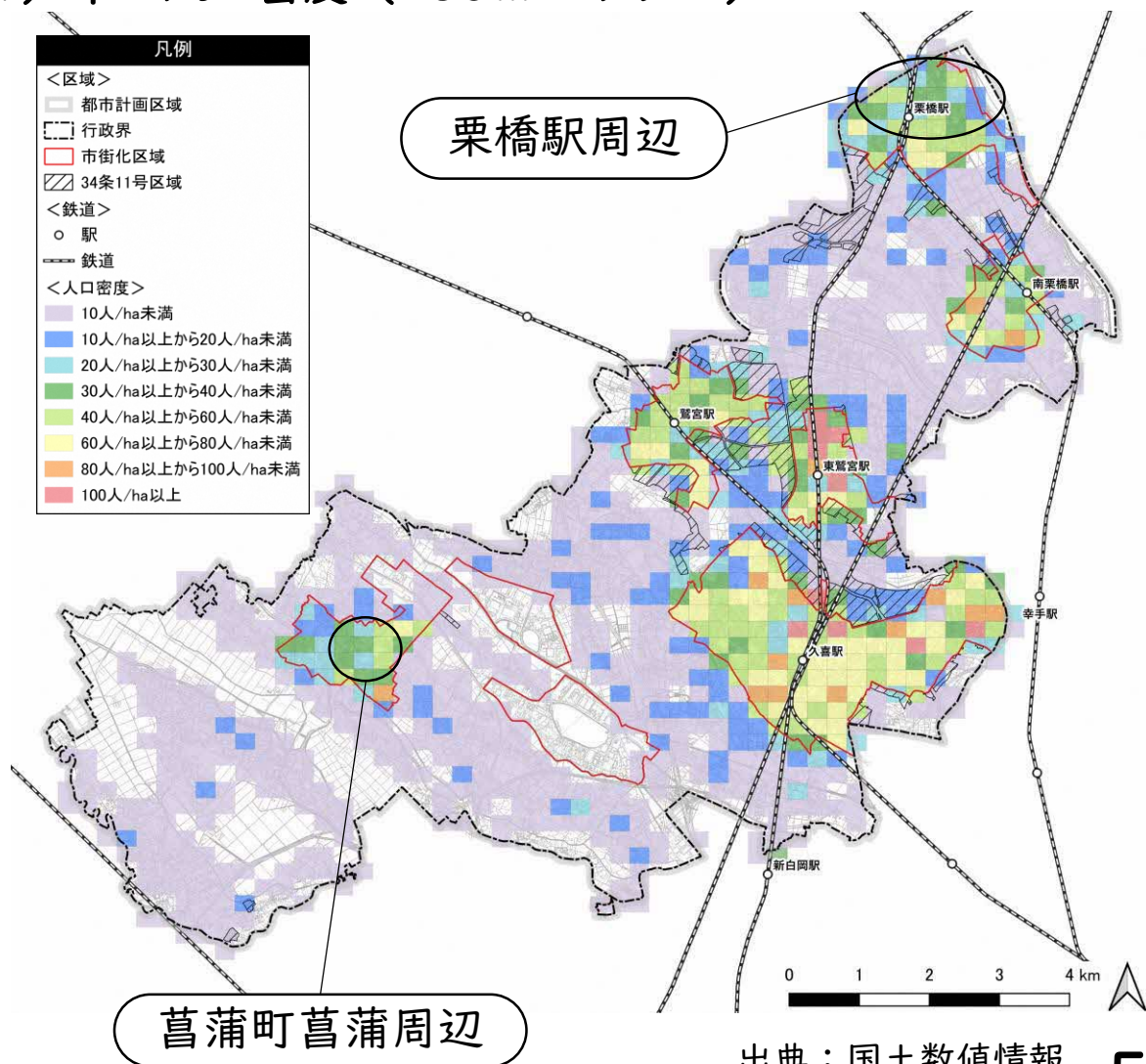


出典：国土数値情報

【人口密度（2045（R27）年）】

《2045（R27）年の人口密度（250mメッシュ）》

- ◆ 2045（R27）年の人口密度をみると、市街化区域の広範囲で人口密度40人/ha以上が維持
- ◆ しかし市全域でみると人口密度が減少
- ◆ 栗橋駅周辺や菖蒲町菖蒲周辺では人口密度40人/ha以下の地域が増加

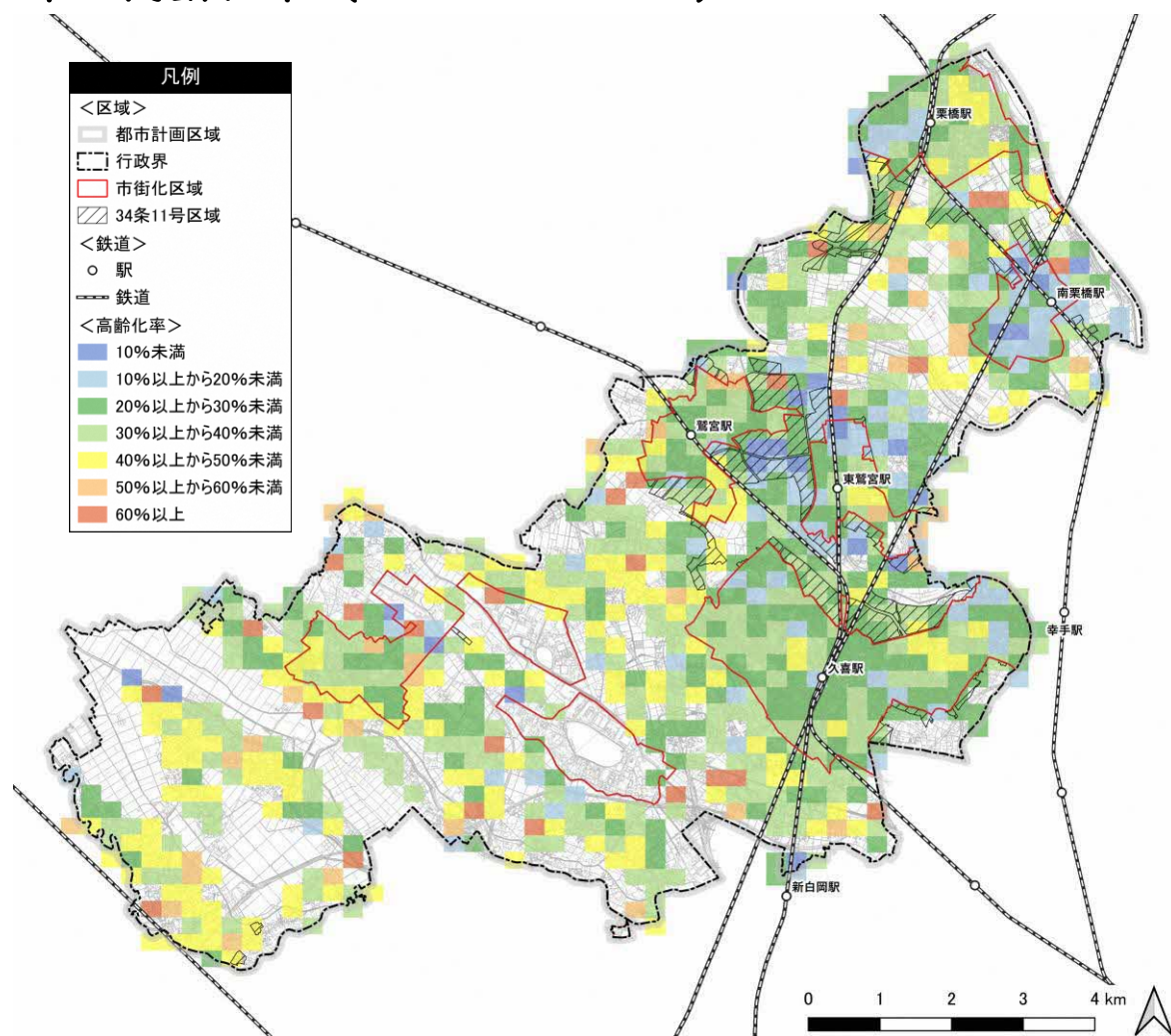


出典：国土数値情報

【高齢化率（2020（R2）年）】

《2020（R2）年の高齢化率（250mメッシュ）》

◆市全域において、高齢化率は20%以上から40%未満



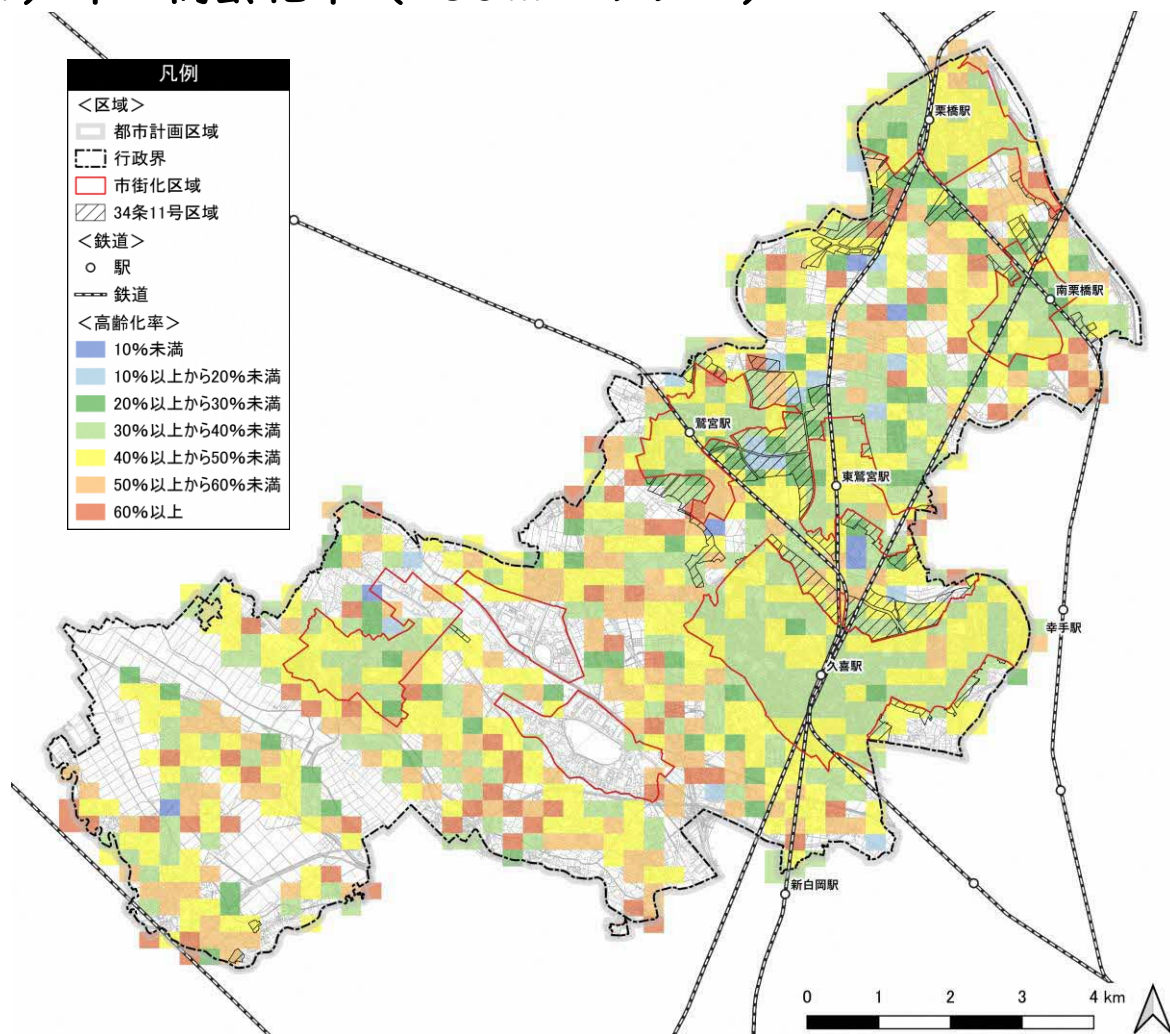
出典：国土数値情報

【高齢化率（2045（R27）年）】

《2045（R27）年の高齢化率（250mメッシュ）》

◆2045（R27）では、市全域において高齢化率が上昇

◆高齢化率40%以上のエリアが増加



2 都市機能

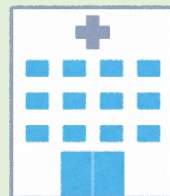
【都市機能とは】

医療・子育て・商業等の日常生活を支える施設

行政機能



医療機能



高齢者福祉機能



商業機能



子育て機能



教育機能



金融機能



文化交流機能



各機能ごとに施設の立地状況を整理

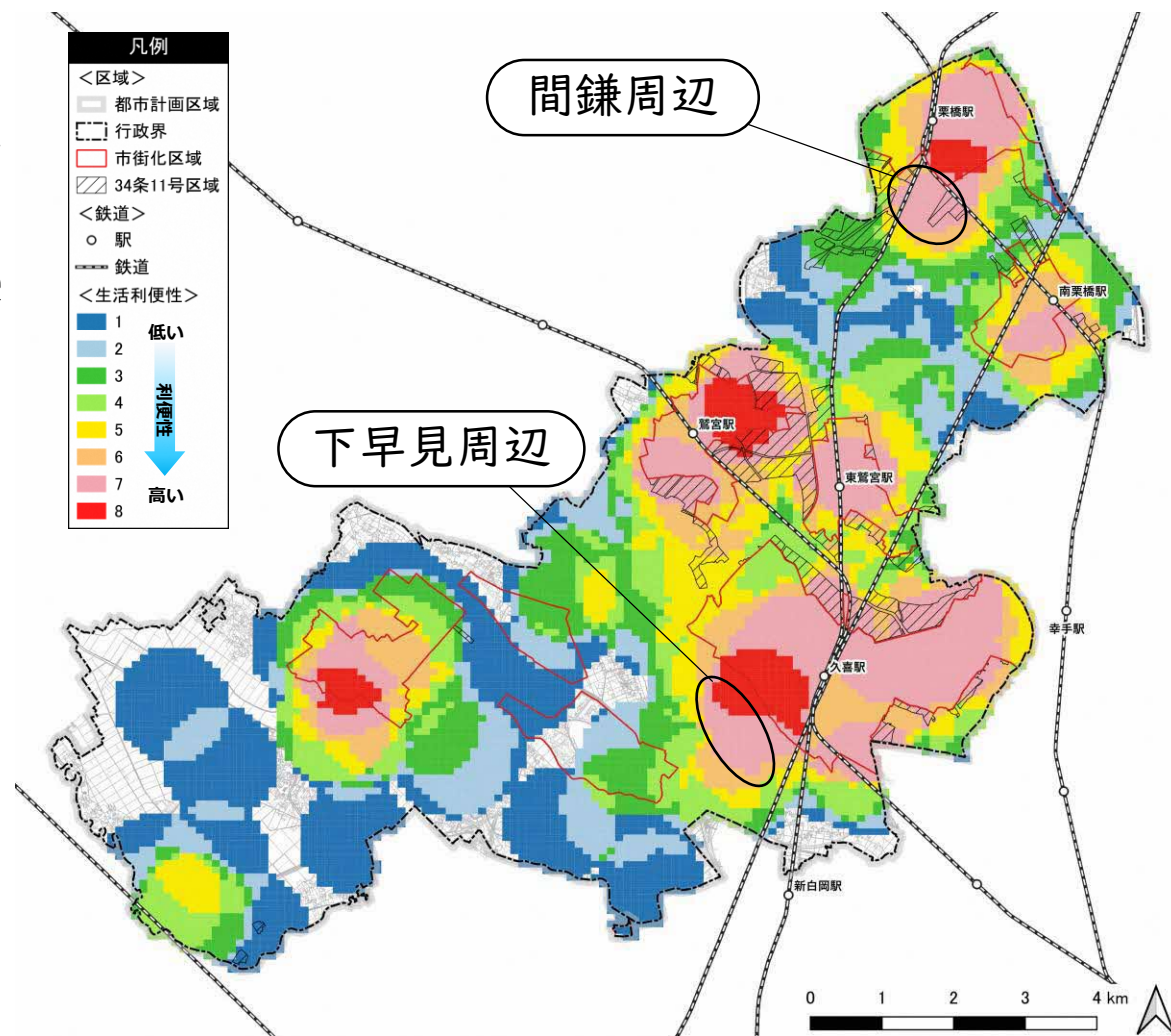
各機能の一般的な徒歩圏（半径800m）を使い、
生活利便性の高いエリアを抽出

2 都市機能

【生活利便性の点数化】

《生活利便性の点数化（100mメッシュ）》

- ◆最も高い8点は、市役所や行政センターが立地している鉄道駅等の交通拠点周辺
- ◆工業系用途地域を除く市街化区域の広範囲が6点以上
- ◆間鎌周辺や下早見周辺など、市街化区域に隣接した市街化調整区域でも7点以上

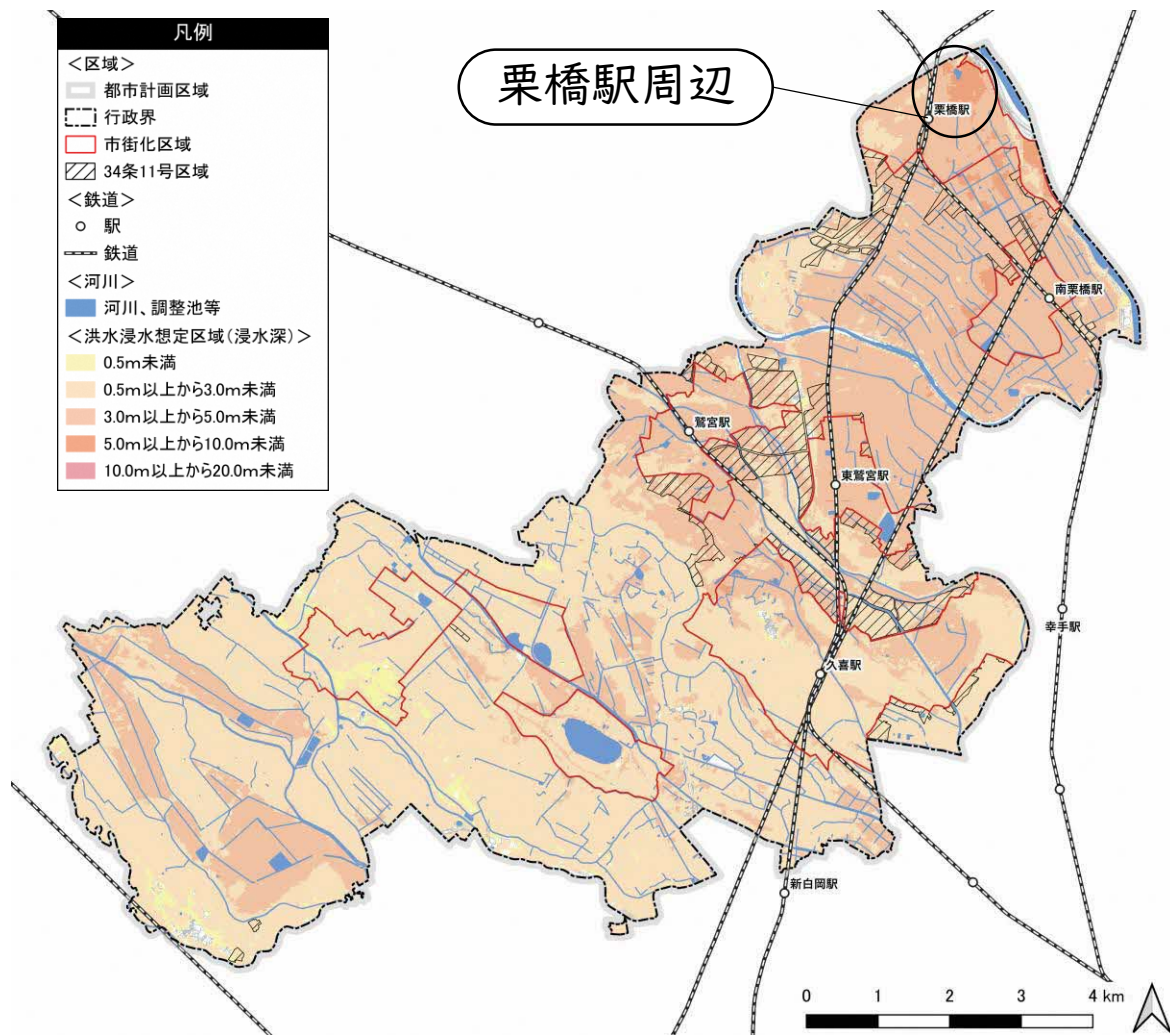


3 災害

【想定最大規模 洪水浸水想定区域（浸水深）】

《洪水浸水想定区域（浸水深）》

- ◆市の概ね全域が、洪水浸水想定区域に指定
- ◆鷺宮駅より南側は、浸水深0.5 m以上から3.0 m未満、北側は浸水深3.0 m以上から5.0 m未満
- ◆栗橋駅周辺などでは、浸水深5.0 m以上から10.0 m未満



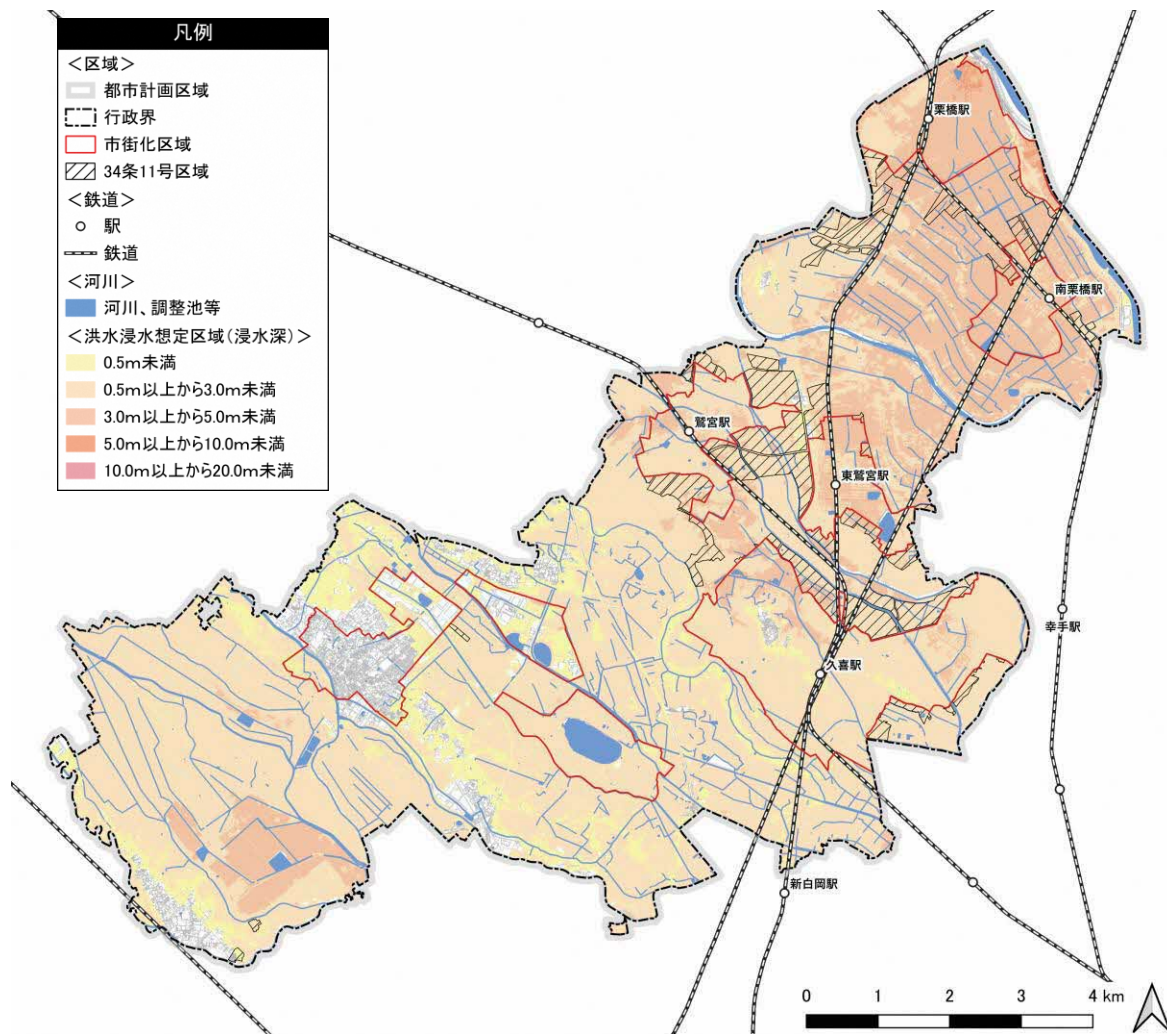
出典：久喜市防災ハザードマップ

3 災害

【計画規模 洪水浸水想定区域（浸水深）】

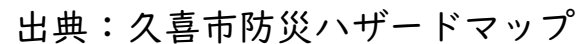
《洪水浸水想定区域（浸水深）》

- ◆計画規模でも、菖蒲町菖蒲周辺を除く市の概ね全域が洪水浸水想定区域に指定
- ◆鷺宮駅より南側は、浸水深0.5 m 以上から3.0 m 未満、北側は浸水深3.0 m 以上から5.0 m 未満
- ◆栗橋駅周辺などでは、浸水深5.0 m 以上から10.0 m 未満



【地震（揺れやすさ）】

- ◆ 菖蒲町上栢間周辺を中心に震度6強や震度7
- ◆ 市中央部は震度6弱、市北部では震度5強



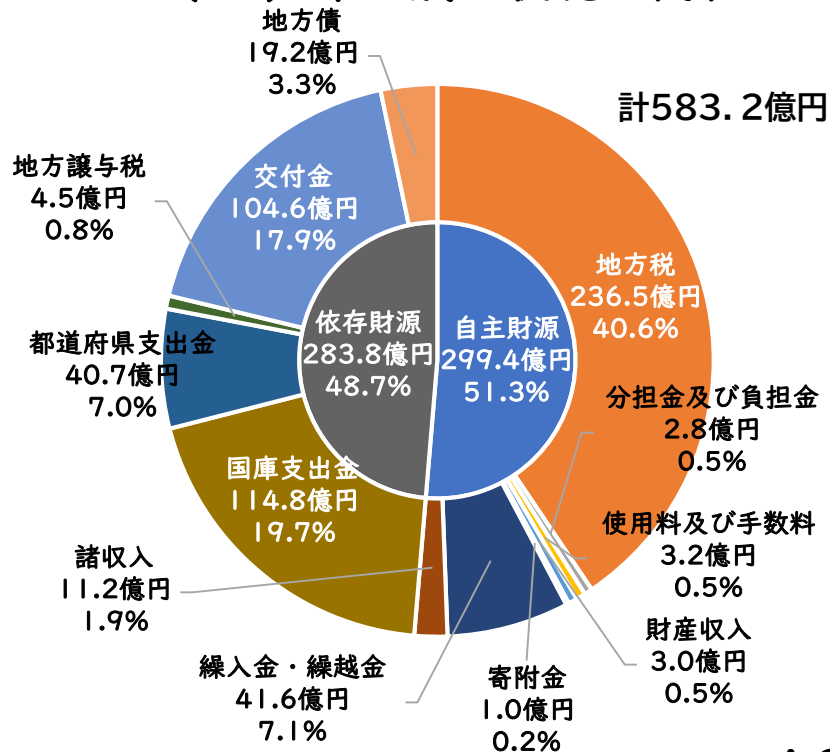
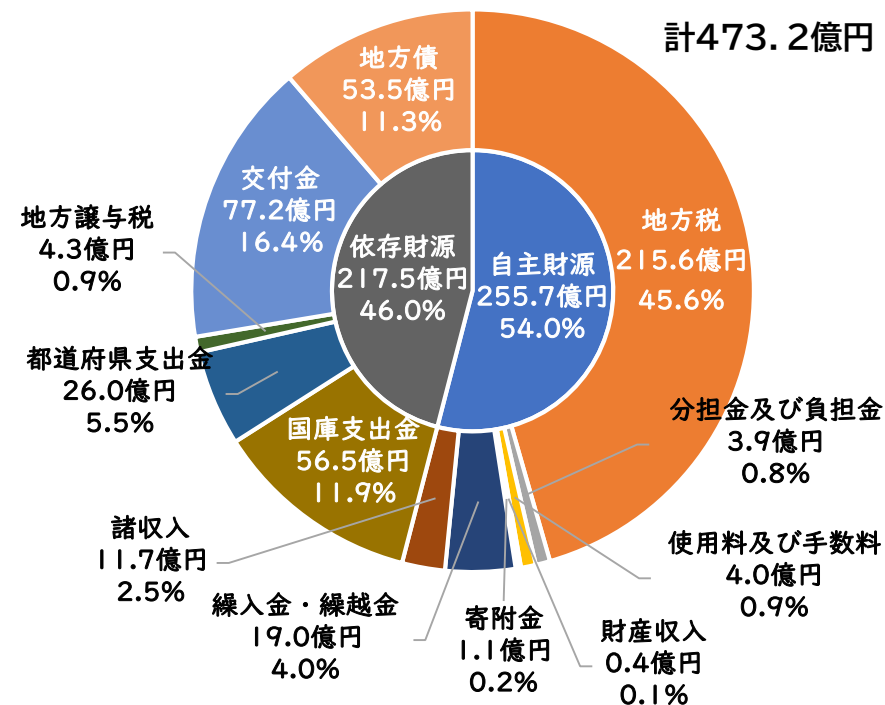
4 財政

【歳入】

- ◆地方税が20.9億円の増加等により、自主財源が43.7億円増加
- ◆国庫支出金が58.3億円の増加等により、依存財源が66.3億円増加
- ◆依存財源の割合は2.7%増加

《2013（H25）年の歳入状況・割合》

《2023（R5）年の歳入状況・割合》



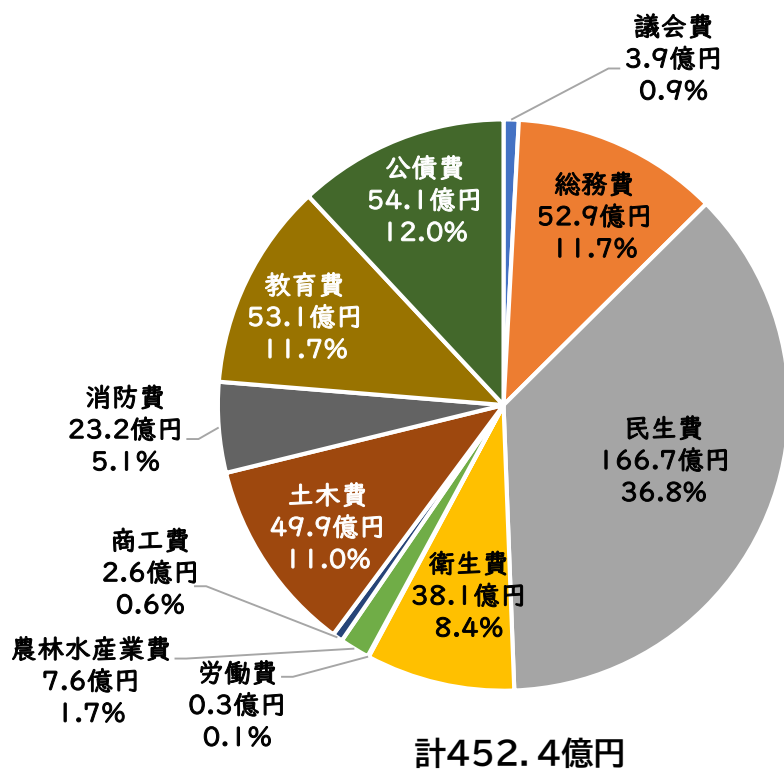
出典：決算カード（総務省）

4 財政

【歳出】

- ◆歳出総額のうち民生費の割合が36.8%から44.9%に増加
- ◆民生費の増加を主な要因として、歳出総額は102.8億円増加

《2013（H25）年の歳出状況・割合》



《2023（R5）年の歳出状況・割合》

